

調査の概要

1 調査実施の目的

本調査は、市民のスポーツに関する現状や課題を把握し、令和 8 年度に改定予定「富士見市スポーツ推進計画」の基礎資料とするため実施した。

2 調査方法と回収状況

調査①：一般市民調査

調査地域：富士見市全域

調査対象：令和 7 年 9 月 1 日現在、富士見市に在住の市民 16 歳以上

抽出方法：住民基本台帳に基づき、1,500 人を無作為抽出

調査方法：郵送配布／郵送・オンライン併用回収

調査期間：令和 7 年 9 月 25 日（木）～10 月 19 日（日）

調査②：児童生徒調査

調査地域：富士見市全域

調査対象：調査期間中に市立学校に在籍している小学 5 年生・中学 2 年生

抽出方法：400 人を目安にクラス単位で抽出

調査方法：オンライン配布・オンライン回収

※市教育委員会より各学校を通じて児童に調査票画面の QR コードを配布

調査期間：令和 7 年 9 月 25 日（木）～12 月 19 日（金）

<回収状況>

調査名	配布数（対象数）	回収数	回収率
一般市民調査	1,500 人	727 人	48.5%
児童生徒調査：小学生	388 人	379 人	97.7%
児童生徒調査：中学生	429 人	381 人	88.8%

3 標本誤差

一般市民調査のように標本抽出による調査結果には、統計上、多少の誤差（標本誤差）が生じることがある。なお、無作為抽出法による標本誤差（正規分布の95%信頼区間）の目安は次の式で算出される。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

Nは母集団数（人）、nは回答者数（人）、Pは回答比率を表す。

調査結果の標本誤差の範囲は、以下の標本誤差早見表のとおりとなる。（信頼度：95%）

回答の比率 (P) 基数(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
727	2.2%	3.0%	3.4%	3.6%	3.7%
300	3.5%	4.6%	5.3%	5.7%	5.8%
100	6.0%	8.0%	9.2%	9.8%	10.0%
50	8.5%	11.3%	13.0%	13.9%	14.1%

(注) 表は $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ として算出した。

この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答数が727人であり、その設問中の選択肢の回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は95%の信頼度で、±3.7%以内（46.3%～53.7%）である。」

4 調査結果を見る上での注意事項

- (1) 集計は小数第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても 100.0%にならない場合がある。
- (2) n (Number of Cases の略) は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答者数に相当するかを示している。
- (3) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- (4) 回答の比率 (%) は、その設問の回答者数を基数 n として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- (5) クロス結果の帯グラフや表について、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、表側のカテゴリーの件数の合計が全体の件数と一致しないことがある。
- (6) 分岐のある設問の対象者、あるいはクロス集計の属性等によって n が少なくなる場合がある。n が少ない場合、1 人の回答がその属性全体の結果に大きく影響するため、定量的には適切な分析をすることが難しい。このため本報告書では分析軸の項目のうち 20 未満の場合、参考値としてコメントでふれていないことがある。